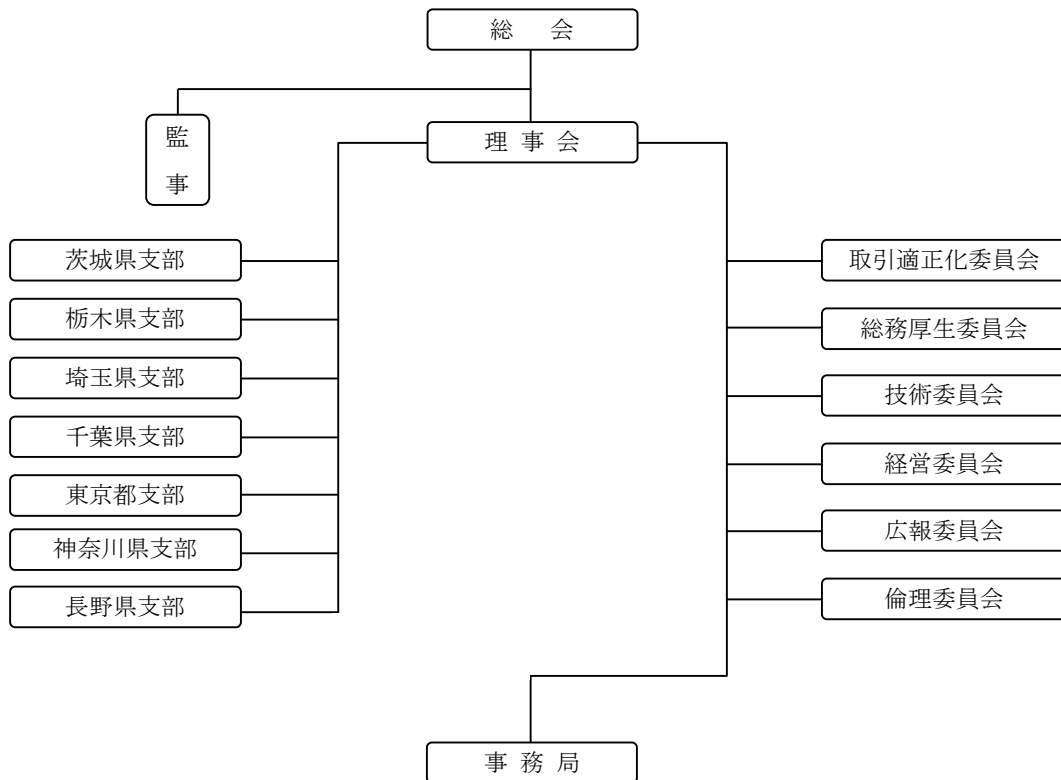


令和2年度 事業計画

(1) 協会運営組織



(2) 事業関係

1. 社会貢献活動に関する事業 (担当: 技術, 広報)

地質調査の知見を通して蓄積した防災等に関わる情報をステークホルダーへ提供し、地質調査と市民生活との密接な係りについて理解を深める啓発活動を行う。

(1) 防災関連イベント (防災展への出展)

- 1) そなエリア東京「防災イベント」
- 2) 東京都防災展 *東京都主催
- 3) 総合防災訓練 (防災展示ブース出展) *東京都・市町村共催

(2) 情報公開関連

- 1) 協会ホームページ公開に係る維持 (メンテナンス)

2. 技術者の育成に関する事業 (担当: 技術, 経営・倫理)

地質調査技術者の育成や、その資質及び福祉の向上を図る。技術の向上に関する調査研究を行い、地質調査業の進歩発展に資する活動を展開する。

(1) 資格関連

- 1) 登録・更新 (東京会場)
地質調査技士

※「資格検定試験」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は中止。

(2) 講習会・勉強会

- 1) 現場技術の伝承事業
- 2) 若手社員教育講習会
- 3) 官公庁等への講師派遣
 - ・ 関東地方整備局（若手技術職員研修会）
 - ・ 日本下水道事業団（研修会）
- 4) 全地連技術フォーラム（参加）

※ 検定試験中止に合わせ、地質調査技術講習会（地質調査技士検定試験 事前講習会）も中止。

※ 若手社員教育講習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

(3) C P D (生涯学習) 関連

- 1) ジオスクーリングネットの管理運営
- 2) C P D 制度への対応（協会事業活動に係る C P D 取得証明書の発行など）

3. 広報活動に関する事業（担当：技術，広報）

地質調査業の社会的使命の普及・啓発・指導を行うことを目的とし、地質調査に関連する情報の収集と提供を行う。

- (1) 発注者からの連絡事項を会員会社へ周知徹底
 - 1) 発注者主催の講習会・説明会の案内
- (2) 広報 P R 活動
 - 1) 協会 P R 活動（年 1 回）
 - 2) 地質業界資料の配布（地質と調査・小冊子ほか）
 - 3) 協会情報誌の発行と配布（技術ニュース）
- (3) 受注動向調査の実施
- (4) ボーリングマシン稼働数の実態調査(定点観測)の実施

4. 事業図書の普及・販売事業（担当：技術，総務厚生）

地質調査業に関連する資料や図書の増刷及び販売に係る事業

- (1) 協会発行図書の販売
 - 地盤調査の実務、現場技術者のための地質調査技術マニュアル等
- (2) 全地連発行図書の販売（全国標準積算資料ほか）

5. 関係官公庁及び機関・団体との連携に係る事業（担当：技術，広報）

関係官公庁及び関係団体と連携し、地質調査に関わる情報の収集と提供を行い、情報の共有化および公共の福祉に寄与する協力体制を築くことを目的とする。

- (1) 関東地整との意見交換会・勉強会の実施
- (2) 発注者に対する「地質リスク調査検討業務」の啓発と発注促進活動

6. 団体加入維持費（担当：総務厚生）

- (1) 全地連会費
- (2) 関係団体加入会費（地盤工学会）

7. その他協会の目的を達成するために必要な事業（担当：経営・倫理，総務厚生）

- (1) 経営講演会
- (2) 倫理関連事業
 - 1) コンプライアンスの情報収集と周知（小冊子配布）
 - 2) 倫理ポスターの作成・配布
- (3) 新年賀詞交歓会
- (4) 表彰制度（永年現場従事優良技術者，業界功労者など）の運用
- (5) 匠（優秀調査技能者）制度に基づく表彰
- (6) 「女性活躍推進」の継続検討
- (7) 協会会員の加入促進と既会員の継続に関する検討
- (8) 各種行事等（式典・祝賀会）への参加

※ 野球大会(第52回)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

8. 連合会関係

- (1) 通常総会（5月27日），代表理事等連絡会議，理事会
- (2) 検定試験（地質調査技士、地質情報管理士、応用地形判読士）
→ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は中止。
- (3) 地質調査技士登録更新講習会（11月27日）
- (4) 地質リスクマネジメント事例研究発表会（10月2日）
- (5) 技術フォーラム2020（那覇）（11月4日～11月5日）
- (6) 道路防災点検講習会（11月24日）
- (7) 事務局長会議（6月26日）
- (8) 各種保険制度の運営